

【第2次札幌新まちづくり計画 平成22年度進行管理評価結果】

『政策目標4 安全・安心で、人と環境にやさしい街』

重点課題3 日常の身近な暮らしの安心の確保

<施策の基本方針>

安全で安心な日常の暮らしを確保し、充実した市民生活を実現するため、地域と協働し、防火・防犯に取り組むまちづくり活動の支援を行います。また、「地域の安全は地域で守る」ことを基本とする「(仮称)犯罪のない安全で安心なまちづくり条例」を制定するなど、安全で安心して暮らせる社会の実現を推進します。

● 事業費の進捗率

75.0% 算出式: (H19決算額+H20決算額+H21決算額+H22予算額) 2,794,602千円 / (計画事業費) 3,724,000千円

● 施策別の主な取組内容

19~21年度(実績)

【施策1】地域での防火・防犯対策

- ・「教えて!ファイヤーマン」事業では、要望する全小学校203校で実施し各年15,000人の児童が受講。
- ・「札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり等に関する条例」の制定、広報啓発を実施。
- ・新規スクールガードリーダー39名を委嘱し、2,009名をスクールガードとして登録。

【施策2】日常の暮らしの安心

- ・人と環境にやさしい農業及び地産地消を推進する「さっぽろとれたてっこ」農畜産物認証制度の運用開始。
- ・地下鉄東西線可動式ホーム柵を、平成20年度末までに東西線全19駅へ設置完了。
- ・東消防署札幌出張所に救急隊1隊を配置し、同出張所に消毒室を設置。
- ・携帯電話等から119番通報された際、携帯電話基地局や人工衛星などを利用して、おおよその発信位置を特定し、速やかに消防車や救急車を出動させるシステムを導入。
- ・消防ヘリコプター1機を購入。
- ・救急救命士が行う救急救命処置拡大による救急業務を充実。
- ・建物所有者のアスベスト対策は、補助事業の周知啓発、分析調査8件と除去等工事4件の補助を実施

22年度(予定)

【施策1】地域での防火・防犯対策

- ・「教えて!ファイヤーマン」事業を小学校201校で実施し15,000人の児童が受講予定。
- ・「札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり等に関する条例」に係る広報啓発。
- ・スクールガードリーダー50名を委嘱し、スクールガードの継続・新規登録を行う。

【施策2】日常の暮らしの安心

- ・民間建築物の所有者が行う吹付けアスベストの分析調査及び除去等工事の費用一部補助。
- ・「さっぽろとれたてっこ」農畜産物認証制度の運用。
- ・救急救命士が行う救急救命処置拡大による救急業務の充実を図る。

● 市民・企業等との協働の状況

■ 市民との連携、市民参加

・犯罪のない安全で安心なまちづくり推進事業：基本計画の制定にあたって、審議会委員の一部を公募するとともに、パブリックコメント実施により、広く市民の意見を聞く機会を設けた。

■ 企業等との連携・協働

・犯罪のない安全で安心なまちづくり推進事業：歓楽街対策の一環として行った薄野地区へのプランター設置にあたり、散水や清掃等の日常管理について地元事業者の協力を得た。

■ 市民・企業等が参加しやすい環境づくり

・犯罪のない安全で安心なまちづくり推進事業：地域防犯に関するホームページに、市民自らが活動内容等を投稿できるフォームを設けた。また、歓楽街対策にあたっては、官民協働による事業が展開できるよう体制を構築している。

● 評価(成果)と課題

【施策1】地域での防火・防犯対策

・「教えて!ファイヤーマン」事業をほとんどの市立小学校で実施し、児童や児童の家族などの防火意識の向上に一定の効果をあげている。また、「札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり等に関する条例」を施行するとともに、基本計画を策定し、その他の事業としてパネル展や出前講座実施により、多くの市民に対して、安全で安心なまちづくりに関する理解増進及び防犯意識の高揚を図ることができた。

⇒防火意識の普及啓発は、対象年代に合わせたよりわかりやすい内容にするとともに啓発効果の高い機材等を整備していく必要がある。また地域防犯においては、条例を広く周知するとともに、条例の実効性を確保するため、地域や関係機関などと連携しながら基本計画に基づいた施策を着実に実施する必要がある。

【施策2】日常の暮らしの安心

・地下鉄走行路面への乗客の転落防止等を図るため、東西線全19駅にホーム柵を設置し、転落及び列車との接触事故防止に効果を発揮しているほか、救急救命の充実を図るため、救急業務の高度化を継続して進めている。

⇒各種制度等の普及啓発に努め、市民の「日常の暮らしの安心」に対する意識向上を図る必要がある。

● 今後の重点取組

防火・防犯等について、より効果的な市民への普及啓発に努めるとともに、事業の実施において地域との連携を深め、「地域の安全は地域で守る」ことができるよう施策を展開していく。

● 主な達成目標の状況

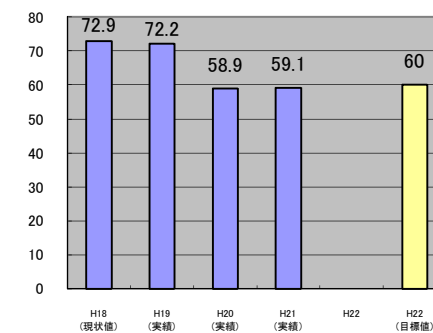
達成目標名	目標値(目標年度)	H18(現状)	H21(実績)
「教えて!ファイヤーマン」事業の実施校数	要望する全小学校(H22)	要望する全小学校(203校)	要望する全小学校(203校)
(仮称)犯罪のない安全で安心なまちづくり条例の制定	制定(H20)	—	制定(H20)
スクールガードリーダー数	50人(H22)	39人	45人
区内で地域安全マップが作成されている小学校区数(北区 累計)	8校区(29校区中)(H22)	—	9校区
[サイクリングロードのトンネル内]アート壁画(累計)	5面(H22)	1面	4面
(仮称)地域安全会議[正式名称:豊平区地域安全ネットワーク会議]等及びセミナーの開催回数(累計)	7回(H19~22累計)	—	6回
簡易型災害図上訓練等の開催回数(累計)	12回(H19~22累計)	3回	13回
[病原体の取扱施設として]実験室整備	整備(H20)	他施設の調査	整備(H20)
アスベスト含有調査件数(累計)	30件(H22)	—	8件
アスベスト除去等工事件数(累計)	24件(H22)	—	4件
さっぽろとれたてっこ認証取得農家数	140戸(H22)	100戸(19年現状)	153戸
さっぽろとれたてっこ協力店舗数	60店舗(H22)	30店舗(19年現状)	35店舗
[地下鉄東西線]可動式ホーム柵の設置駅数	19駅(H20)	—	19駅(H20)
消防力の充実	推進(H22)	—	推進(H20)
救急隊数(累計)	31隊(H19)	30隊	31隊(H19)
位置情報通知システムの導入	導入(H19)	—	導入(H19)
気管挿管可能救急救命士数	92人(H22)	36人	69人
薬剤投与可能救急救命士数	183人(H22)	81人	205人

● 主な施設・サービスの整備水準

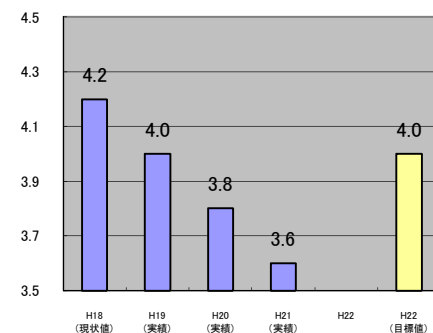
施設(サービス)名	整備水準	H18(現状)	H21(実績)
地下鉄可動式ホーム柵設置	19駅(H20)	—	19駅
救急隊	31隊(H19)	30隊	31隊

● 成果指標等の動向

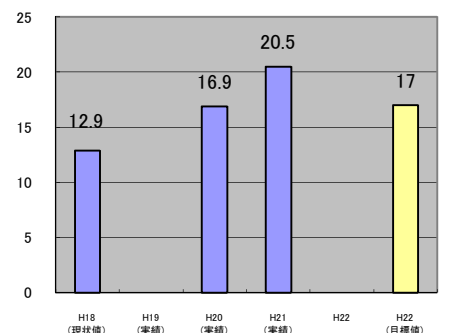
日常生活において、身近な犯罪に対する不安感を抱いている市民の割合(単位:%)



人口1万人当たりの火災発生件数(出火率)(単位:件)



地域防犯活動に参加している人の割合(単位:%)



救命講習の受講人員(単位:万人)

